

宇野中学校・玉中学校・日比中学校 再編準備委員会 第6回総務部会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和8年1月29日（木）19:35～20:35

■ 場 所 宇野中学校 3年A組教室

■ 出席者 ○部会委員

星島永一部会長 中務裕子副部長

楠戸康弘委員 加藤優子委員 南濱喜成委員 福本敏子委員

栗林太一郎委員 中塚俊道委員 福本泰久委員 與田由佳理委員

町野弘美委員 三澤敏之委員 石原路子委員

（欠席者：高藤弥々副部長、日笠桃子委員）

○事務局

学校再編推進課 参事 清山智保、主査 久富香

■ 傍聴者 一般 0人 市議会議員 0人 報道関係者 0人

1 開会

2 議事（要綱第8条に基づき、星島部会長が議事進行を行う。）

（1）「校章」について

部会長： 事務局から説明をお願いする。

▶校章デザイン選定要領と選定スケジュールについて

事務局： 【資料1・2】により説明

今までの協議内容を反映した選定要領となっているので確認いただきたい。

選定スケジュール案を作成している。学校名の選定と同じ流れだが、今回は全国規模の募集なので、一次選定の期間を3週間ほど確保したい。

二次選定は、児童・生徒に無理がないスケジュールとして、4月の3週目から4週目の期間を予定している。

三次選定は、全体会に間に合うように行う予定である。

部会長： 意見等はあるか。

委 員： 応募は、市外の人が多いか。

事務局： 市外が多い。公募情報サイトからの応募という方もいる。

委 員： 情報サイトを見ない人からデザインの応募をしてもらう手段があるか。

事務局： デザイン関係の学校にも声がけしている。市内の中学校にも声がけいただけるとありがたい。

委 員： 今回は、どのような手段で周知したのか。

事務局： 市内全小中学校にポスターを配布し、保護者・教職員には、保護者・学校連絡ツールで発信した。また、ホームページや広報誌に掲載している。公募情報サイトには、掲載を依頼するなど色々な手段を使って周知している。

委 員： 学校からも応募チラシをデータで配布した。

委 員： 小中学生が手描きでデザインすると、発想や雰囲気はよいが、整える必要も出てくるだろう。

委 員： AIを使って作成してもよいのか。

事務局： 簡単にロゴが作成できるサイトもあるのでAIを使って作成している人も
いると思っている。

部会長： その他意見等はあるか。
(意見等なし)

部会長： 意見がないようなので、事務局の説明どおり進めてよいか。
(一同異議なし)

(2)「閉校式」について

部会長： 事務局からの説明をお願いします。

事務局： 閉校式については、全体会で部会長も報告したとおり、フォーマルな形では、5校合同で行い、各学校では個別にお別れ会などを実施することとなった。

日程は、学校との調整を行う必要があり、現在は令和8年12月下旬頃の終業式の後くらいで検討しているが、教育委員会に一任していただけるか。

全学年が出席できるように、かつインフルエンザの蔓延で3年生の受験に支障が出ることを避ける趣旨で日程調整している。

式典の内容は、他市の事例を参考にして検討することになるが、総務部会の委員の方の意見を参考にしたいと考えている。

5校合同で行うと、例えば、校長先生のあいさつも5校分と長くなるので、そのような点に関しての意見も伺いたい。

総務部会での意見を参考に、主催する教育委員会で具体的な検討を進める。

部会長： 閉校式の日程は、教育委員会に一任することでよいか。
(異議なし)

部会長： 閉校式典の内容、あいさつが長くなる点に関し、意見・提案はあるか。

委員： 5校長からの挨拶だと集中力が切れるので、冊子などにして配布したり、会場に掲示したりしておいてはどうか。地域や子どもたちにとって、心に残る式典となるように時間を使ってほしい。

委員： 保護者、地域、歴代校長や教職員など、参加者はどの範囲とするのか。

事務局： 今後の検討となる。収容可能数の範囲で考えることとなる。

保護者の方は、合同閉校式の出席について、どう捉えているか。

委員： 平日開催となると、仕事もある。各学校でお別れの会などをするので、そちらに参加したい。

委員： 報道なども入るのか。

事務局： プレス発表も事前にするので、マスコミが来る可能性はある。

委員： 収容人数が多いが、駐車場の面はどう考えているか。

事務局： 付近のグラウンドをお借りしたいと考えている。

委員： 子どもたちの移動手段はどうするのか。近い人は自転車でも構わないか。

事務局： 学校の管理面からも、終業式後に全員バスでの移動を考えている。

委員： ムービーを流すといった案もあったがどのようなものを考えているか。

事務局： 学校にあまり負担をかけない範囲で制作したいと考えている。

委員： 校長の挨拶とムービー用に各校のブースをつくってはどうか。

委員： 凝った物は、それぞれの学校でのお別れ会等ですればよく、フォーマルな

場所では、統一感ができるようにしたほうがよいのではないか。

委員： 校長先生の言葉を冊子にするという意見があったが、一緒に二次元コードを読み込んで各校のスライドショーが希望者に期間限定で見えるようにしてはどうか。

委員： 校歌の録音を流すのではなく、生徒が生演奏するなどしてはどうか。

事務局： 吹奏楽部も全校にはなく、生徒数の非常に少ない学校もあるので難しいのではないか。

委員： 子どもたちに負担がない方がよい。中学生でない方に頼むことができれば、あってもよい。

委員： 式典といえど、楽しいものでなければ、子どもたちの集中が持たないのではないか。来賓の難しい挨拶はいらないが、生徒も声かけなどで関わった方が楽しめるのではないか。

委員： 前回、各学校の閉校式では趣向を凝らしたものを、セレモニー的に必ず行う必要があるものを、合同閉校式できちんとした形で行うという話になっている。

委員： 来賓は祝電だけいただくとしても、市長と教育長のあいさつはないと締まらない。

委員： 校旗返納がメインで、その時にスライドを投影して校歌を流すくらいのシンプルなものの方がよい。セレモニーとしてするならあまり凝っても各学校のお別れ会のハードルも上がって、準備も大変になる。

部会長： その他質問や意見はないか。

委員： 校長先生の言葉は、冊子にするにしても、一言ずつくらい贈る言葉があってもよいのではないか。先生が誰もしゃべらないというのはセレモニーが締まらないのではないか。

委員： セレモニーの時間は、どのくらいを考えているか。

事務局： 1時間程度を考えている。

委員： 不登校で学校に來れていない生徒や、仕事で参加できない保護者に式典をオンライン配信で見れるようにしてはどうか。

事務局： 学校で待機する生徒が出てくる可能性もあるので、オンライン配信は可能な範囲で対応したいと考えている。

部会長： それでは、各総務部会の意見を参考にして、教育委員会で具体的な検討をするということでよいか。

(異議なし)

部会長： 最後に今まで決めたものの他、協議しておくべき内容があれば意見をいただきたい。

(意見なし)

部会長： それでは、協議する内容はこれで終了する。